

1. キク科の花の特徴について説明しなさい。下の余白内に書くこと。

解答例：キク科の花は頭状花と呼ばれる集合花で、あたかも1つの花のように見える。その頭状花は多くはヒマワリの花のように花の中心が筒状花（管状花でも良い）でその周囲を舌状花が囲んでいる。しかしノアザミのように筒状花だけの花、またタンポポの仲間のように舌状花だけの花からできている種類もある。

解説：菊の花を理解してもらうため、頭状花、筒状花（管状花）、舌状花 についての記載があればOK。

2. 次の文章の（ ）内に当てはまる用語を入れて文章を完成させなさい。

ヨモギの全草、特に葉の裏には（綿毛）が生えていますが、昔から（艾）の原料として知られている。ヨモギの若葉、タンポポの若葉、フキの花芽はキク科の春の（山菜）として食される。

解答： 順番に （綿毛）、（艾）、（山菜）

解説： ヨモギについては草団子、お灸 それに秋の花粉症の代表の1つであることも忘れないでほしい。類似の単語も正解とする。

3. イネ科の牧草の花粉は世界最初の花粉症原因となったものですが、イネ科の花ではサクラ類の花弁（花びら）に相当するものは次のどれか、○で囲みなさい。

外えい、 鱗皮、 苞、

解答： 鱗皮

解説： イネ科の花は単子葉でもユニークで、同じ単子葉のユリ類やアヤメ類とは想像もつかないほど、花弁や顎片が退化して鱗皮になっている。外えい：苞に相当する。

4. バラ科植物の果実にあんずやうめ、ももなどがあるが、これら3種類の正しい生薬名（右側）と線で結びなさい。

あんず	桃仁
うめ	杏仁
もも	梅仁

解答： あんずと杏仁、 うめと梅仁、 ももと桃仁 を線で結ぶ。

解説： バラ科の代表的な果樹でもあるが、その核（仁）は咳止めなど重要な生薬である。

5. サトイモ科のカラスビシャクは薬用もごく限られていますが、正しい薬効(a, b, c)を選び解答しなさい。

- a. 地上部を乾燥し、薬用酒として胃弱、胃痛、腹痛に使われる。
- b. 地下の塊茎を乾燥し、表面の外皮を取り除き、生姜などと煎じて吐き気止めに使われる。
- c. 地下の塊茎を乾燥後粉末として水で練り団子にして土踏まずに貼り、利尿に使う。

解答 b

解答： b.

解説： カラスビシャクは地上部を薬用にはしない。地下部も利尿目的には使用しない。

6. 次の文章のなかで正しいものを選び、その記号(a, b, c)を解答欄に答えなさい。

- a. マツ類の樹幹に傷をつけ、浸出したものを乾燥させたものが松脂、強心、強壯作用がある。
- b. アサガオの花弁を搾った汁を青花紙と呼び、友禅染の下絵に使う。
- c. クズの根茎をカッコンと呼び、漢方処方に多用されているが、澱粉も貴重である。

解答 a

解答： a

解説： bはアサガオではなくツユクサなら正解です。cは根茎を根とすれば正解です。

7. 春の七草のセリやスズナ(カブ)、スズシロ(ダイコン)は今でも野菜として栽培していますが、他の4種類は野草です。4種類とも春の七草であるものを選び、その記号(a, b, c)を解答欄に答えなさい。

- a. ホトケノザ、ハハコグサ、ナズナ、ハコベ。 b. ハコベ、ヨモギ、ナズナ、ホトケノザ
c. フジバカマ、ハハコグサ、ナズナ、ホトケノザ。

解答 a

解答： a

解説： bはヨモギが春の七草ではない。cのフジバカマは秋の七草です。

8. 次の植物の中から2種類、健胃作用のある植物を選び、解答欄に記載しなさい。

ダイコン、ハコベ、イタドリ、タンポポ、ゲンノショウコ、ノアザミ

解答 ダイコン タンポポ ノアザミの中から2種類

解答： ダイコン タンポポ ノアザミ の中から2種類

解説： ハコベは問題9に解答あり、イタドリは蕁麻疹や便秘、ゲンノショウコは整腸薬

9. 次の植物とその薬用効果を線で結びなさい。

ボケ	――	催乳薬
半夏	――	疲労快復
ハコベ	――	鎮吐、去痰

解答： ボケと疲労快復、半夏と鎮吐・去痰、ハコベと催乳薬 を線で結ぶ。

解説： ボケは果実、半夏(ハンゲ)は塊茎、ハコベは全草を薬用部分とする。

10. 次の植物とその薬用部分を線で結びなさい

オオバコ	――	果実
チガヤ	――	根
クサボケ	――	種子

解答： オオバコと種子、チガヤと根、クサボケと果実 を線で結ぶ。

解説： オオバコは地上部も同様に去痰薬、チガヤも利尿作用あり、クサボケにも強壯作用以外に利尿作用もある。